

- ・(公社)岩手県青少年育成県民会議表彰
- ・新会長就任挨拶
- ・青少年を非行・被害から守る県民大会
- ・第1回青少年育成セミナー
- ・各種お知らせ

青少年 いわて

2015
08

岩手県青少年育成県民会議表彰

6月22日(月)に開催された、「平成27年度 岩手県青少年育成県民会議通常総会」において、平成26年度表彰決定者である青少年育成支援団体及び青少年育成指導者の方々に対する表彰式が行われました。

この表彰は、青少年の健全育成運動に貢献した団体及び個人を対象として、その活動を奨励するとともに、青少年の健全育成運動を県民に周知することを目的に行っているものであり、今回は青少年育成支援団体2団体と青少年育成支援者7名が表彰されました。

表彰団体・表彰者の皆様

1. 青少年育成支援団体 (2 団体)

花巻東ライオンズクラブ (推薦：花巻市青少年育成市民会議)

宿 八幡会 (推薦：大船渡市青少年育成市民会議)



2. 青少年育成指導者 (7 名)

嶋 弘一 (所属：日本ボーイスカウト岩手連盟)

向口 恵美 (所属：ガールスカウト岩手県連盟)

大村 千恵 (所属：奥州市水沢青少年育成市民会議)

千田 正明 (所属：米里野球スポーツ少年団)

佐々木 啓子 (所属：一関勤労青少年ホーム)

鈴木 平八郎 (所属：大船渡市青少年育成市民会議)

穂高 育雄 (所属：田野畑村スポーツ少年団本部)

新会長就任あいさつ

このたび会長に選任された澤野桂子です。何分にも微力ではございますが、橋田前会長を始め皆様が築いてこられた県民会議の精神を引き継ぎ、更に発展させるため、できる限りの力を尽くして参りますので、皆様方には変わらぬ御支援御協力を賜りますようお願い申し上げます。

さて、御案内のとおり、青少年を取り巻く社会情勢は年々厳しさを増しております。少子高齢社会の進展や本格的な人口減社会の到来による青少年の社会的負担の増大、ネットワーク社会の進展に伴うコミュニケーション行動の変化と人と人が関わる意識の変容、若者の自立の遅れや社会生活への参加の困難などがあり、そのため、多くの青少年が、自らの将来に明るいイメージを持つことができないという厳しい状況にあります。

一方、こうした現状の中で、国での教育委員会制度の改革や「子ども・子育て支援法」の制定、県での新しい「青少年育成プラン」の策定や「いわての子どもを健やかに育む条例」の制定、更に今国会での選挙権年齢の「18歳以上」への引き下げなど、国、県の青少年に関わる制度・計画に大きな変化や新しい動きも出てきております。

県民会議におきましても、本年3月に5カ年の長期計画「いわて青少年育成推進計画」を策定し、計画の目標を“次代を担う青少年の健やかな成長と社会的自立の達成”と定め、国、県の動向を見据えながら、青少年関係団体や行政機関、NPO等との連携をより密にしつつ、県民ニーズを十分に把握して、より総合的・効果的な青少年育成運動の推進を図っていくこととしております。

特に、来年は県民会議設立50周年を迎える年であり、この大きな節目の年に向けて、これまでの県民会議の歩みを大切にしながら、新たな取組の推進にも精一杯努めて参りますので、会員各位を始め、関係諸団体の皆様の御理解御協力、更には積極的な御提言をお願い申し上げ、就任にあたっての挨拶といたします。



(公社) 岩手県青少年育成県民会議
会長 澤野 桂子

『平成 27 年度 青少年を非行・被害から守る県民大会』

～犯罪や非行を防止し、立ち直りを支える地域のチカラ～

日 時：7 月 23 日（木）

13：30～16：00

場 所：いわて県民情報交流センター（アイーナ）

7 階 アイーナホール

主 催：岩手県、（公社）岩手県青少年育成県民会議

共 催：第 65 回 “社会を明るくする運動”

岩手県推進委員会（事務局：盛岡保護観察所）

参 加 者：市町村青少年育成関係者、関係団体、更生保護関係者、一般県民 ほか



意見発表



決議朗読

7 月 23 日（木）、「平成 27 年度青少年を非行・被害から守る県民大会」をアイーナ 7 階アイーナホールで、県内の関係機関や団体など約 400 名の参加を得て開催しました。

意見発表では、昨年度の「わたしの主張岩手県大会」優秀賞の藤村貴子^{ふじむら たかこ}さんは「私と地域をつなぐもの」と題し発表、また「社会を明るくする運動」作文コンテスト日本 BBS 連盟会長賞の阿部歩果^{あべ あゆか}さんは「受け入れられる社会」と題し発表しました。アトラクションでは、県警音楽隊が演奏やスマートフォンの正しい使い方を交えた寸劇を披露しました。

講演では、大学の外部講師、ボランティア団体の代表、スペシャルオリンピックス日本認定コーチなど幅広い活動をしている鈴木宏治^{すずき こうじ}さんから「～IT 時代の落とし穴～スマートフォンやインターネットに潜む危険」と題し、インターネットの特徴や現状、誰もがネット事件の被害者・加害者になりうることを実例を交えてお話いただきました。

大会の最後に、岩手県青年団体協議会の松田恵美子^{まつだ えみこ}会長から、青少年の非行・被害防止のための決議提案があり、参加者からの拍手をもって承認され、閉会しました。

講演要旨「～IT 時代の落とし穴～スマートフォンやインターネットに潜む危険」

講師：鈴木 宏治 氏（福祉プロモーター・福祉チャレンジャー）

【講演要旨】 インターネットの特徴として、「世界規模のネットワーク」、「いつでもどこでも利用できる」、「匿名性が高い」、そして「双方向性（インタラクティブ）」がある。例えば、岩手にいながら南極の昭和基地や宇宙の国際宇宙ステーションと交信することも可能であるように、インターネットによって、遠くにいる人との交流が可能になる。

インターネットの利用者は年々増加しており、平成 23 年の利用者数でいえば平成 22 年よりおよそ 1.6% も利用者が増加している。

今の子どもは、「スマホチルドレン」と呼ばれ、携帯ゲームや携帯音楽プレーヤー、電子辞書などの端末でインターネットを日常的に利用している。そんな子ども達が有害なサイトを検索しないように、端末にフィルタリングを設定することができるが、フィルタリングの性質上、全ての有害サイトをブロックすることは不可能である。そのため、ペアレンタルコントロールの設定というものが必要になってくる。また、中学生までの間は、直接的なコミュニケーションで、対人関係や相手を思いやる気持ちを培うための重要な時期であるため、携帯電話やスマートフォンは高校生になるまでは持たせないのがよい。

インターネットの世界では、一度流出した情報を完全に消すことはできない。そのため、自分を大切にすることが大事である。無責任な情報や嘘を載せたり、不正コピーや再配布したりしないことはもちろんのこと、本人や会社などが特定できる情報を書き込まないようにし、自分をしっかりと守ってほしい。



地域福祉プロモーター・福祉チャレンジャー
鈴木 宏治 氏

※ ペアレンタルコントロール：スマホやゲーム等の端末自体の機能（サイトの閲覧やアプリの利用など）や利用時間等を制限するシステム

第1回青少年育成セミナー

日 時：7月1日(水)

午前の部：10:00～12:30 意見・情報交換会

午後の部：13:30～15:30 講演 (東洋大学文学部教育学科 教授 藤本 典裕 氏)

場 所：アイーナ6階 団体活動室2・3

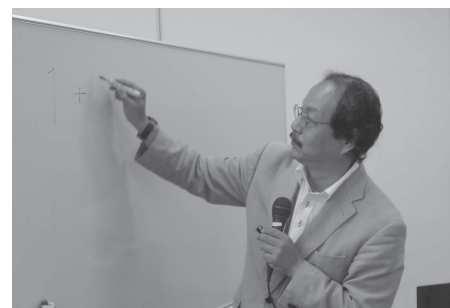
7月1日(水)、アイーナ6階団体活動室2・3におきまして、青少年の育成に関わる方々を対象とした「第1回青少年育成セミナー(研修会及び意見・情報交換会)」を開催しました。午前中の意見・情報交換会では、出席団体の今年度の活動計画や抱えている課題、被災青少年への対応事例の報告のあと、提起された問題について短い時間でしたが意見交換をしました。

キャラクターの手に剣やピストルを持たせている絵を描く子どもや、大人にどんな死に方をしたいか尋ねる子どもの話には、そのような子どもの良い所を一つでも見つけ、またより多くの体験学習の必要性があることを再認識しました。



講演「たかがアニメの教育学 - サザエさん、ちびまる子ちゃん、クレヨンしんちゃん -」

講師：東洋大学文学部教育学科 教授 藤本 典裕 氏



【講演要旨】アニメ「サザエさん」においては権力の象徴である怖い父親像が存在するが、「ちびまる子ちゃん」では父親の厳しさは薄れ、母親の中に厳しい父親と優しい母親が混在している。そして昔は、親は子どもを後ろから支え、背中を押してやればよいと考えられていたが、今は核家族化が進み、母親一人が子育てのストレスを抱え込むような状況にもなっている。その中で「クレヨンしんちゃん」の家族は、理想の核家族かもしれない。子どもを誰かと比べない、よその子どもも叱る、間違った時は子どもにも本気で謝る、近所の人たちに子育てを助けてもらう、父親の出番もちゃんとある。自分の子どもだけが幸せであればよいという親が増えている現在、地域の中で周りの人たちと一緒に子育てができるような社会が望ましい。



藤本 典裕 氏 プロフィール

1959年 大阪府生れ

神戸大学教育学部卒業

東洋大学専任講師、助教授を経て、

現在東洋大学文学部教育学科教授

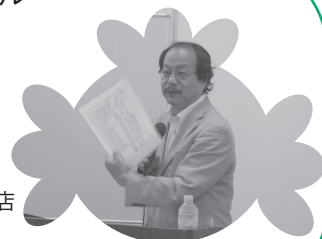
専門分野：教育学、教育行政学

主要著書・論文：

『学校から見える子どもの貧困』大月書店

(2009/05)

『教育行政学』、『現代教職論』、『教職入門』



『第11回 三陸を応援！ 復興バザー』を開催しました



6月14日(日)に、いわて県民交流センター(アイーナ)の4階にて、『復興バザー』が開催されました。今回で11回目になるこのバザーは三陸の震災復興を目的に開催されており、アイーナ館内の各センターから集まった提供品を販売する「アイーナブース」や個人の参加者が出展する「個人ブース」、さらには、三陸の方々が直接出店して地域の特産品等を提供する「被災地ブース」など様々なブースがあり、毎回多くのお客さんで賑わっています。

今回は、青少年活動交流センターの登録ボランティア4名が積極的にバザーの準備や販売に協力してくれました。

みなさんの協力のおかげで集まったバザーの売上金等108,991円は、その全額を寄付いたします。

いわて親子フェスティバル

日時:10月18日(日) 10:00~16:00

場所:いわて県民情報交流センター(アイーナ)

コンセプトは『アイーナで1日中遊ぼう!』

「遊びリンピック」で1位を目指せ!

「リコーサイエンスキャラバン」に参加して科学者になろう!

わんこきょうだいやエコロルちゃん、ケロ平達もやってくる!

他にも親子で楽しめるイベント盛りだくさん!

10月18日(日)はアイーナに集合!!

当日にフェスティバルの準備や運営を手伝ってくれるボランティアも募集しています。詳しくは、センターのホームページ
(<http://www.aiina.jp/seishounen/>)をご覧ください。

情報メディア『出前』講座

PTA関係者や保護者等からの要望に応じ、講師を派遣して、インターネットやスマートフォンを巡る青少年の現状への理解を深め、情報機器の正しく安全な利用が進むよう講座を開催します。

講演時間:30分から90分程度(質疑応答時間別)

テーマ:要望に応じて内容を調整します



例) 青少年が関わるネット・スマホトラブルと対策

ネットでのマナーやコミュニケーションの注意点

※ 派遣を希望する団体は、講座開催希望日の1ヶ月前までにお申込みください。

お問い合わせ・申込先(青少年活動交流センター)

Tel:019-606-1763 / Fax:019-606-1765

観武ヶ原まつり

日時:9月6日(日) 9:00~15:00

場所:岩手県青少年会館(隣接地)

岩手県青少年会館の入居団体が毎年共催する『観武ヶ原まつり』を今年も開催します。ステージ発表やゲーム等、子ども達が一日中楽しめるイベントが行われます。

また、県民会議をはじめ、多くの団体がかき氷などを出店しますので、ぜひ遊びに来て下さい!

青少年ボランティア募集

『観武ヶ原まつり』で会場の準備や運営、出店の店員をして一緒にまつりを盛り上げてくれる16歳から30歳くらいまでのボランティアを募集しています。

詳しくは、センターのホームページ

(<http://www.aiina.jp/seishounen/>)をご覧ください。



県民会議
センター
事業告知

青少年なやみ相談室

どうしていいかわからない。

困っているとき、苦しいとき、不安なとき。

思い切って電話してみませんか?

相談は無料です。秘密は固く守ります。

電話:019-606-1722

相談受付時間:9時~16時(アイーナ休館日を除く毎日)

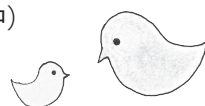
9時~20時(月曜日・木曜日)

メール:nayami@aiina.jp(24時間受付中)

面接:事前の予約が必要です

詳細はホームページ

(<http://www.aiina.jp/seishounen/nayami/>)をご覧ください。



頑張るいわての青少年を応援します



希望郷 いわて 国体 希望郷 いわて 大会

2016 広げよう 感動。伝えよう 感謝。

いわて国体・大会承認 第27-11号